

兵庫県立神崎工業高等学校 令和2年度学校関係者評価

評価（A = 適切である B = やや適切である C = あまり適切でない D = 適切でない）

	それぞれの項目に関する各評議員からの意見	評価			
		A	B	C	D
学校運営全般	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、学校運営は大変だったが、修学旅行・野外活動が実施できてよかった。 ・インターネット環境が整い、色々な取組ができる環境が整った。 ・生徒たちは保護者だけでなく学校外の団体や専門の人などに支えられ育っていることがわかった。 ・学校運営に努力が見られる。 ・円形方式の卒業式は、毎年伝統を感じており継続してもらいたい。 	4	1	0	0
開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・公開授業や生活アンケートは保護者に伝わっていない面があり、情報発信が今後の課題である。 ・学校の外のフェンスに特別専修コースの張り紙があり、アナログな方法ではあるが一番地域の人に見てもらえるためよい行いである。 ・今後とも学校の情報を広く保護者や地域機関に発信し連携を深めていただきたい。 ・ボランティア参加、文化祭など全般的に開かれた学校づくりが行われているが、保護者に対して開かれた学校になっているかが気になる。 	3	2	0	0
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を抱えた生徒が多数退学したと聞いています。生徒に問題はあったでしょうが、何とか退学させず粘り強い指導を続けて欲しいと思います。 ・保護者目線ではあるが、色々な教師が個別に生徒にアプローチしてくれている。 ・生徒・保護者に説明し達成状況を報告しているが、いじめ等の課題について踏み込んだ説明がなされていない。 ・日々、ご苦労尽力されているが、いじめ防止対策については教員と保護者・生徒の間で受け取り方に違いがある。 	2	2	1	0
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの厳しい状況にも関わらず、進路指導には感謝している。 ・進路講演会の内容を聞いてみたかった。 ・生徒の実態に応じた指導をしている。 	5	0	0	0
教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の状況がよくわかりません。 ・授業で教える以外にも生徒との関わりや理解をしてくれることが生徒の支えだと思う。 ・教職員の指導力に期待している。 	3	1	0	0
危機管理体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行、野外活動が問題なく安全に実施できたことはとてもよかった。 ・いつ学校に行っても簡単に入れるので、侵入対策を考える必要がある。 	3	1	1	0
P T C A 活動	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、保護者・地域の人に参加できる行事や活動ができずPTAとして残念な1年であった。 	1	2	1	0
学力向上の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善の取り組みを引き続きお願いしたい。 ・テスト期間の勉強会や教え合う環境を生徒自身で活用できず残念であった。 ・生徒の学力に応じた指導と生徒の関心を集める授業づくりなど工夫による成果を期待している。 ・生徒が関心を持つことに視点を絞って授業づくりをすれば、もっとよい授業ができると思う。 	4	1	0	0
交通安全教育、防災教育、環境教育などの課題教育	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のボランティア意識が高まり、ボランティア活動は学校に根付いてきているのでとてもよいと思う。 ・避難訓練や交通安全が、自分を守り周りの人を大事にすることをわかっていない生徒に教えてもらいたい。 ・生徒の関心に応じた事業計画や内容など課題教育について評価できる。 ・人権やプライバシーなどへの配慮について、循環型社会での学校の取り組み方を考える必要があるだろう。 	3	2	0	0